



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

九州予選 ワールドCC (熊本県)

予選大会結果のお知らせ

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 九州予選>

◇2016年2月27日(土) 天候:曇り一時雨

◇熊本・ワールドCC(15-17歳男子6969ヤード、パー72ほかカテゴリー別)

◇出場121人

<九州予選 概況>

15-17歳の部男子は、中田樹(宮崎・宮崎日大高1年)が、腰痛による練習不足の中で3オーバー75と粘って、1位で西日本決勝大会(4月2、3日、佐賀・若木GC)に進んだ。同女子は、平田茅愛(ちなり、福岡・福岡第一高1年)が3つのバーディーを奪うなどただ1人アンダーパーの1アンダー71で回り、トップで西日本決勝大会に進出。13-14歳の部男子はハイレベルの接戦になり、松田正史(熊本・春日小6年)と枝川吏輝(熊本・益城中1年)がいづれパー72で並んだが、カウントバックで松田が1位となった。同女子では、河本留奈(熊本・錦ヶ丘中2年)が混戦を抜け出して3オーバー75で1位通過した。西日本決勝大会でIMGA世界ジュニアゴルフ選手権(7月、米国サンディエゴ)の西日本エリアの日本代表が決まる。

西日本決勝大会進出者は以下の通り。

<九州予選 予選結果>

西日本ブロック決勝の進出者は以下の通り。*敬称略

▽15-17歳男子

【1位】中田樹(いつき、宮崎・宮崎日大高1年) = 75 【2位】八川遼(福岡・御陵中3年) = 76

▽同女子

【1位】平田茅愛(ちなり、福岡・福岡第一高1年) = 71 【2位】木村鈴菜(宮崎・日章学園中2年) = 74

【3位】丸山祐香(熊本・九州学院中3年) = 74 【4位】奥山友梨(熊本・出水中3年) = 75

【5位】山本彩乃(山口・高川学園中3年) = 75 【6位】天本遥香(福岡・第一学院高2年) = 76

【7位】小野里リア(熊本・オーブンドア・クリスチャン中3年) = 76

【8位】辛島寧那(ねな、福岡・木屋瀬中3年) = 78 【9位】永江綾(りょう、福岡・福岡雙葉高1年) = 79

▽13-14歳男子

【1位】松田正史(熊本・春日小6年) = 72 【2位】枝川吏輝(りき、熊本・益城中1年) = 72

【3位】森園大河(鹿児島・高山中1年) = 75 【4位】桜井豪(長崎・山里中1年) = 77

【5位】中野恵将(福岡・飯塚第一中1年) = 79

▽同女子

【1位】河本留奈(熊本・錦ヶ丘中2年) = 75 【2位】白川ほのか(福岡・福岡中1年) = 76

【3位】堤姫乃(福岡・沖学園中1年) = 76 【4位】大窪桃花(熊本・詫麻中2年) = 77

【5位】緒方菜摘(熊本・帯山中2年) = 77 【6位】奥山純菜(熊本・出水中2年) = 78

【7位】河野あずみ(長崎・波佐見中2年) = 78

▽11-12 歳男子

【1位】山本龍征（熊本・麻生田小6年）=76 【2位】横山翔伍（宮崎・明道小5年）=77

【3位】後藤颯太（大分・三重東小6年）=79 【4位】堀本祐希（熊本・健軍小6年）=82

【5位】縄田領一（山口・新川小6年）=82

▽同女子

【1位】亀川美羽（みう、長崎・長崎大教育学部付属小6年）=77

【2位】徳安春奈（はな、福岡・周船寺小6年）=78 【3位】竹原美悠（みゆ、熊本・白山小6年）=79

【4位】荒木優奈（熊本・築山小4年）=79 【5位】桜井心那（ここな、長崎・山里小6年）=83

【6位】西川果穂（福岡・別府小6年）=84

▽9-10 歳男子

【1位】藤井太己（たいき、佐賀・江北小4年）=82 【2位】縄田翔一（山口・新川小4年）=82

【3位】山本大勢（福岡・西小倉小2年）=84

▽同女子

【1位】左奈々（福岡・原西小3年）=72 【2位】三明桜子（福岡・玄洋小4年）=76

【3位】荒木七海（熊本・築山小2年）=81

▽7-8 歳男子

【1位】長崎煌心（こうしん、宮崎・大淀小2年）=79

▽同女子

【1位】豊田ヒカル（熊本・築山小2年）=77

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる

<九州予選 ハイライト1>

◇15-17歳の部男子◇熊本・ワールドCC（15-17歳男子6969ヤード、パー72）

中田樹（宮崎・宮崎日大高1年）が、苦しみながらも首位で予選を突破した。1オーバーで迎えた17番で右ラフからの第2打を木に当てて、3打目も出すだけで4オン2パットのダブルボギーにしたが、そのまま3オーバー75でしのいだ。「最近あまり練習できていませんでした」というのは、昨年12月に原因不明の炎症で腰を痛め「靴下も履けなくなった」と、安静を言い渡されたから。2カ月間あまり体を動かせなかったが「クラブを持たないと落ち着かなくて」と、寮でパターやアプローチはやっていたそうだが、本格的に動けたのは最近だという。「決勝大会までにまず腰を完治させて、それから追い込んで優勝争いはしたい」と、1か月後に迫った西日本決勝大会（4月2、3日、佐賀・若木GC）を見据えていた。

<九州予選 ハイライト2>

◇13-14歳の部男子◇熊本・ワールドCC（13-14歳男子6969ヤード、パー72）

松田正史（熊本・春日小6年）がハイレベルの戦いを制して、1位で西日本決勝大会（4月2、3日、佐賀・若木GC）に進んだ。同じ熊本県で全国でもトップクラスのライバル、枝川吏輝（熊本・益城中1年）と競り合いになり、15-17歳の部と同じティーからともにイーブンパー72で回った。18番からのカウントバックで松田がメダリストに。それでも「アイアンがまっすぐ行かなくて、納得していません」と悔しそうな表情をした。11番パー5では「3番ウッドで4メートル弱ぐらいに2オンした」というイーグルには胸を張った。一昨年、小5で全国小学生大会を制した。今回は、上のカテゴリーの選手をしのぐスコアを出したが「小学生のティーより後ろの方がおもしろい。セカンドでいつもサンドウェッジとかだったけど、ウッドを使うこともあるし」と、距離にはさほど苦労していない様子。ドライバーの平均飛距離も「280ヤードぐらい」という。決勝大会に向けて「世界に行きたい」と意気込んでいた。

<九州予選 ハイライト3>

◇15-17歳の部女子◇熊本・ワールドCC（6233ヤード、パー72）

平田茅愛（ちなり、福岡・福岡第一高1年）が、この予選でただ1人アンダーパーの1アンダー71をマークして、トップで西日本決勝大会（4月2、3日、佐賀・若木GC）に進んだ。「よかったのは今日だけです、今日だけ」と言いながらもニコニコ。「いつも85ぐらいたたいている。練習ラウンドも80でした」というが、この日は安定したプレーを見せた。インスタートの10番で50センチにつけるバーディー発進で波に乗った。イーブンで来た6番では

約 100 ヤードをピッチングウェッジで 1 メートルにつけて、アンダーパーにした。実は「今までのベストスコアの 72 を出したのもこのコースなんです」と、自己ベストを更新する縁があるようだ。「いままで九州の人しか知らないので、世界の人たちのゴルフを見てみたい。アプローチがへたくそなので、安定させたい」と、世界ジュニア出場に向けての課題を口にしていた。



写真： 左／中田樹（15—17歳の部男子）、中央／松田正史（13—14歳の部男子）、
右／平田茅愛（15—17歳の部女子）、写真クレジット：© I J G A 2 0 1 6